

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	11100	簡易水道施設建設事業費	担当課	水道部上水道課	内線
種別					2254
予算	会計	9	簡易水道施設建設事業費	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	簡易水道事業費	分野	5 上・下水道
	項	1	簡易水道施設費	基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する
	目	1	簡易水道施設建設費	施策	2 給水施設の整備
根拠計画	高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	配水管拡張整備事業、配水管布設替事業、簡易水道施設整備事業、水道施設維持修繕・改修事業、老朽管対策整備事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道利用者全員	対象者数	15,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実手法(手段)	簡易水道施設の新設・改良を行う		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	奥飛騨温泉郷簡易水道整備事業 中尾浄水場基幹改良(土木建築・設備)、一重ヶ根老朽管布設替L=322m 宮簡易水道整備事業 渡瀬橋配水管布設替L=62m、 坂下・川上簡易水道災害復旧事業10件、その他配水管布設替等7件L=256m					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	管路整備・改良延長	m	目標値	950	3,346	698
				実績値	1,146	3,168	640
	算出根拠等			達成率(%)	121	95	92
	成果指標	給水人口	人	目標値	18,798	18,798	18,798
				実績値	15,612	15,316	15,087
	算出根拠等	現在給水人口		達成率(%)	83	81	80
	成果指標	管路耐震化率	%	目標値	100	100	100
				実績値	88	100	100
	算出根拠等	布設替・布設延長の内、耐震管の割合		達成率(%)	88	100	100
	算出根拠等			目標値			
実績値							
算出根拠等			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足事項							
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	196,003	305,032	119,719	
	受益者負担(使用料・負担金等)			20,186	42,730	24,939	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			175,817	262,302	94,780	
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	12,555	19,916	7,935	
	受益者	給水人口	(B)	15,612	15,316	15,087	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要な性が認められている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト削減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	・市長公約である「安全安心な水道の提供」の実現に効果があつた
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		
合計		9 / 10	→	100点換算 90 点

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入) ・更に効率的で安全な施設となるよう、水需要を見極め、管理コストの削減につながるよう老朽化対策や耐震化等を進める必要がある。

(参考) H26事業評価結果(二次評価)

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・道路改良に伴う布設替や老朽管の布設替を行う。				
------------------	-------------------------	--	--	--	--

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了	H27完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了	H27完了予定

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21100	簡易水道一般管理事業費	担当課	水道部上水道課	内線
種別					2254
予算	会計	9 簡易水道施設建設事業費	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	2 総務費	分野	5 上・下水道	
	項	1 総務管理費	基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する	
	目	1 一般管理費	施策	3 経営の安定	
根拠計画	高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	水道施設等管理事業、水道施設維持修繕・改修事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道利用者全員	対象者数	15,097 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 簡易水道施設の維持管理、修繕を行う 取水から配水池までの管理は指定管理者が実施し、配水管以降は市が管理する 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	水道料金現年度分収納率 98.3% 指定管理委託料 79,489千円 施設等修繕料 94件 14,309千円					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	水道普及率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	96	99
				算出根拠等	現在給水人口/行政区域内人口	達成率(%)	99
	成果指標	給水人口	人	目標値	16,798	16,798	16,798
				実績値	15,612	15,316	15,087
				算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	83
	成果指標	料金徴収率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	99	99
				算出根拠等	徴収額/調定額	達成率(%)	99
	活動指標	給水原価(目標値は全国平均)	円	目標値	277	277	291
				実績値	233	239	254
				算出根拠等	給水事業費用/有収水量	達成率(%)	
				目標値			
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
			目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
補足事項							
<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度より取水から配水池までの施設管理を指定管理者制度で実施しており、今年度で8年目となるが、維持管理は順調に推移している。 給水原価については、数値が低い方がよい。 							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A)	149,040	140,883	142,081	
	受益者負担(使用料・負担金等)			149,040	140,883	142,081	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	9,547	9,198	9,417	
	受益者	給水人口	(B)	15,612	15,316	15,087	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	安全安心な水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	安全安心な水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のコストで事業を実施できているか 委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度を活用し、効率的な施設管理を行っている 料金収納業務等の外部委託化の可否について検討を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト削減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 市長公約の実現を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があった	B	給水原価は全国平均を下回っており、概ね適正と言えるが、更なる効率化を目指す必要がある
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 安定した料金収入の確保が必要であり、料金の収納率向上を図る必要がある。 施設修繕による延命化を図る。
---------------------------------------	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 料金の収納率向上に向け、給水停止を含めた滞納整理の強化を図る。 漏水調査等の実施により、修繕が必要な箇所を把握し、効率的な施設運営につなげる。
------------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了	H27完了予定

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○	H26完了	H27完了予定

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	11100	営業費用(原水浄水費、配水及び給水費、総保費、減価償却費他)	担当課	水道部上水道課	内線	2254
予算	会計	16	水道事業会計	政策	3	「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1	水道事業費用	分野	5	上・下水道
	項	1	営業費用	基本施策	1	安全で安心な水を安定して供給する
	目			施策	3	経営の安定
	根拠計画	高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	水道施設等管理事業、水道施設維持修繕・改修事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	75,039 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 取水から配水池までは指定管理者、配水管以降は市が管理する 予防的な修繕等の実施により、施設の延命化を図り、経費の縮減を目指す 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	水道料金現年度分収納率 99.2% 指定管理委託料 278,408千円 施設修繕 22,186千円、給配水管修繕 194件22,205千円					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	水道普及率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	99	99
	算出根拠等	現在給水人口/行政区域内人口	達成率(%)	目標値	77,550	77,550	77,550
				実績値	75,693	75,465	75,039
	成果指標	給水人口	人	目標値	77,550	77,550	77,550
				実績値	75,693	75,465	75,039
	算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	目標値	98	97	97
				実績値	98	97	97
	成果指標	料金徴収率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	99	99
	算出根拠等	徴収額/調定額	達成率(%)	目標値	168	168	172
				実績値	122	124	143
	活動指標	給水原価(目標値は全国平均)	円	目標値	168	168	172
実績値				122	124	143	
算出根拠等	給水事業費用/有収水量	達成率(%)	目標値				
			実績値				
算出根拠等		達成率(%)	目標値				
			実績値				
補足事項							
<ul style="list-style-type: none"> 平成18年より取水から配水池までの施設管理を指定管理者制度で実施しており、今年で9年目となるが、維持管理は順調に推移している。 給水原価については、数値が低い方がよい。 							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A) 892,729	902,859	1,083,588		
	受益者負担(使用料・負担金等)		892,729	902,859	1,083,588		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 11,794	11,964	14,440		
	受益者	給水人口	(B) 75,693	75,465	75,039		

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要な性が認められている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・指定管理者制度による施設管理は順調に推移しており、適正な管理ができています
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理制度を活用し、効率的な施設管理を行っている ・料金徴収業務等の外部委託化の可否について検討を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	B	・給水原価は全国平均を下回っており、概ね適正と言えるが、更なる効率化を目指す必要がある
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	安定した料金収入の確保が必要であり料金の収納率向上を図る必要がある。 施設修繕による延命化を図る。
---------------------------------------	--

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な施設修繕の実施により、施設の延命化を図る必要がある。 水道使用者の不公平感を招かないためにも、未納対策は徹底して行う必要がある。 料金賦課及び徴収業務の委託化について検討する必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 料金徴収率向上に向け、給水停止を含めた滞納整理の強化を図る。 漏水調査等の実施により、修繕が必要な箇所を把握し効率的な施設運営につなげる。
------------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 安全安心な上水道の供給のため、施設修繕による延命化を図る。 水道料金の収納率向上により歳入を確保する。 統合した簡易水道についても同様に実施する。 					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21100	原水及び浄水設備費	担当課	水道部上水道課	内線
種別					2254
予算	会計	16 水道事業会計	総合計画	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして
	款	1 資本的支出		分野	5 上・下水道
	項	1 建設改良費		基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する
	目	1 原水及び浄水施設		施策	2 給水施設の整備
	根拠計画	高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画			
実施計画事業	配水地耐震化整備事業、宮水源紫外線処理施設整備事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	75,039 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 原水の取水設備、浄水設備の整備を行う 配水池、ポンプ場等の耐震化整備を行う 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	<ul style="list-style-type: none"> 下切導水管耐震化整備 岩滝第1配水池次亜注入設備更新 				
	指標名 単位 目標・実績 H24 H25 H26					
	活動指標	水道普及率	%	目標値 100	実績値 99	99
		算出根拠等	現在給水人口/行政区域内人口	達成率(%)	99	99
		成果指標	給水人口	人	目標値 77,550	実績値 75,693
	成果指標	算出根拠等	現在給水人口	達成率(%)	98	97
		水道施設耐震化率	%	目標値 100	実績値 79	79
		算出根拠等	耐震化施設/施設数	達成率(%)	79	79
	算出根拠等	目標値				
		実績値				
		達成率(%)				
	算出根拠等	目標値				
		実績値				
		達成率(%)				
	補足事項					
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額	
	歳出(千円)		(A) 30,896	48,354	92,636	
	受益者負担(使用料・負担金等)		30,896	48,354	6,536	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				86,100	
	一般財源					
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 408	641	1,235	
	受益者	給水人口	(B) 75,693	75,465	75,039	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があつた
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・更に効率的で安全な施設となるよう、水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化等を進める必要がある。
--	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・高山市における水源保全地域を定め監視・規制等を行うなど、水源保全のための方策を検討する必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 下切導水管耐震化整備などの事業を適確に執行する。 高山市水道水源保全条例により、水源地域での取水排水等を監視・指導する。
------------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 配水池等の耐震化事業を実施するとともに、老朽化した機器等を更新する。 高山市水道水源保全条例により、水源地域での取水排水等を監視・指導する。 統合した簡易水道についても同様に実施する。 					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21200	配水施設拡張費	担当課	水道部上水道課	内線
種別					2254
予算	会計	16 水道事業会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	1 水道事業費用	分野	5 上・下水道	
	項	1 建設改良費	基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する	
	目	2 配水施設拡張費	施策	2 給水施設の整備	
根拠計画	高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	水道施設等管理事業、水道施設維持修繕・改修事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	75,039 人
	どのような状態にしたいのか(意図)	安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実手法(手段)	・配水施設の拡張整備を行う ・錦山配水区域等再編、上野地区配水施設整備等、配水施設の拡張を伴う整備を実施する ・水道未給水地域解消のための助成制度に基づき、配水管整備を実施する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	駅周辺整備事業 配水管布設 L=157m、一般受託工事 L=391m					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	管路整備延長	%	目標値	960	827	650
				実績値	1,287	196	142
				算出根拠等	達成率(%)	134	24
	成果指標	給水人口	人	目標値	77,550	77,550	77,550
				実績値	75,693	75,465	75,039
				算出根拠等	達成率(%)	98	97
	成果指標	水道普及率	%	目標値	100	100	100
				実績値	99	99	99
				算出根拠等	達成率(%)	99	99
	成果指標	算出根拠等	%	目標値			
				実績値			
				達成率(%)			
	成果指標	算出根拠等	%	目標値			
実績値							
達成率(%)							
補足事項							
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額		
	歳出(千円)		(A) 427,771	302,082	16,065		
	受益者負担(使用料・負担金等)		427,771	302,082	16,065		
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 5,651	4,003	214		
	受益者	給水人口	(B) 75,693	75,465	75,039		

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	・安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があった
		B (1) ある程度効果があった		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・更に効率的で安全な施設となるよう、水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化等を進める必要がある。
---------------------------------------	---

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・錦山配水区域等再編事業の推進により安全安心な上水道の供給に努めるとともに、未給水地域の解消に努める。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・駅周辺整備事業や水道改良に伴う配水管の整備と、未給水地区解消に努める。 ・錦山配水区域等再編事業の推進により施設の統廃合をすすめる。
------------------	--

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了	H27完了予定
	・総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 ・配水施設整備の実施と未給水地域の解消に努める。 ・統合した簡易水道についても同様に実施する。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	○ H26完了	H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					

平成27年度事業評価シート(一般予算) ※26年度予算事業による

事業名	21300	施設改良費	担当課	水道部上水道課	内線
種別					2254
予算	会計	16 水道事業会計	政策	3 「すみよさ」のあるまちをめざして	
	款	1 水道事業費用	分野	5 上・下水道	
	項	1 建設改良費	基本施策	1 安全で安心な水を安定して供給する	
	目	3 施設改良費	施策	2 給水施設の整備	
根拠計画	高山市水道ビジョン、高山市水道事業整備5か年計画				
実施計画事業	配水管布設替事業、送水管布設替事業、老朽管対策整備事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	上水道利用者全員	対象者数	75,039 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	安全で安心な水を安定して供給する		
概要	事業の実施手法(手段)	配水施設の改良整備を行う 送水管布設替事業(城山～坂口)等、送水管、配水管等の施設改良整備を実施する		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26の実績	老朽管対策整備事業 L=1246m、道路改良に伴う配水管布設替 L=490m、下水関連布設替 L=615m				
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	管路整備延長	m	目標値	2,095	3,443	3,390
			実績値	2,191	885	2,351
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値	105	26	69
			実績値	98	97	97
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値	99	99	99
			実績値	99	99	99
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値	99	99	99
			実績値	99	99	99
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値			
			実績値			
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値			
			実績値			
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値			
			実績値			
成果指標	算出根拠等	達成率(%)	目標値			
			実績値			
補足事項						
各種計画に基づいた施設整備を着実に実施している						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 決算額	
	歳出(千円)		(A) 234,355	271,667	129,714	
	受益者負担(使用料・負担金等)		134,355	171,667	110,814	
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		100,000	100,000	18,900	
	一般財源					
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B) 3,096	3,600	1,729	
	受益者	給水人口	(B) 75,693	75,465	75,039	

3 分析・評価(Check) ※平成26年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)
① 市民ニーズの確認	事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか 社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	A	安全安心な上水道ということについての市民ニーズは高く、安定的に必要性が認められている
		B (1) ある程度のニーズがある		
		C (0) ニーズが低い		
② 市が実施する必要性	市が事業主体であることは妥当か 国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	安全安心な上水道の供給は市の重要な責務である
		B (1) 一部見直しが必要である		
		C (0) 市が実施する必要性が低い		
③ 活動内容の有効性	目的とする成果があがっているか 成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあげられている	A	総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進めており、目的とする成果があがっている
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている		
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④ 執行方法の効率性	最小限のコストで事業を実施できているか 委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	工事にあたっては、コスト縮減を図っており、施設の統廃合等も視野に入れ、効率的な施設整備を行っている
		B (1) 事業効率化・コスト縮減がある程度図られている		
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤ 政策面における効果	事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があつたか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があつた	A	市長公約である「安全安心な上水道の提供」の実現に効果があつた
		B (1) ある程度効果があつた		
		C (0) あまり効果が見られなかった		

合計	9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・更に効率的で安全な施設となるよう、水需要を見極め、管理コストの縮減につながるよう老朽化対策や耐震化を進める必要がある。
---------------------------------------	--

(参考) H26事業評価結果(二次評価)	・耐震化に関する計画策定の検討など、計画的な耐震化に向け取り組む必要がある。
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する27年度の対応状況	・老朽管の布設替えや耐震化、道路改良・下水道事業に伴う布設替等を実施する。
------------------	---------------------------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	総合計画をはじめとする各種計画に基づき、施設整備・改良を進める。 施設整備を必要とする箇所数が多いため、財政推計との整合性を図りつつ施設整備を推進する。 統合した簡易水道についても同様に実施する。					

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	○ H26完了	○ H27完了予定
	(担当課評価に同じ)					